



## 平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成28年2月10日

上場会社名 富士機械製造株式会社 上場取引所 東 名  
 コード番号 6134 URL <http://www.fuji.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 曾我 信之  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員経理部部长 (氏名) 巽 光司 TEL 0566-81-2111  
 四半期報告書提出予定日 平成28年2月12日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨)

### 1. 平成28年3月期第3四半期の連結業績（平成27年4月1日～平成27年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	65,324	1.0	9,526	7.9	10,006	2.7	6,949	1.1
27年3月期第3四半期	64,702	32.4	8,828	257.9	9,741	204.5	6,875	206.0

(注) 包括利益 28年3月期第3四半期 5,947百万円 (△46.1%) 27年3月期第3四半期 11,043百万円 (30.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第3四半期	71.09	—
27年3月期第3四半期	70.33	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第3四半期	151,585	137,667	90.7
27年3月期	153,890	135,044	87.6

(参考) 自己資本 28年3月期第3四半期 137,486百万円 27年3月期 134,825百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	8.00	—	20.00	28.00
28年3月期	—	14.00	—	—	—
28年3月期（予想）	—	—	—	14.00	28.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無  
平成27年3月期 期末配当金の内訳 普通配当 16円00銭 記念配当 4円00銭

### 3. 平成28年3月期の連結業績予想（平成27年4月1日～平成28年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	82,000	△3.8	10,200	△15.5	10,800	△17.1	7,200	△16.6	73.65

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 ー社（社名）ー、除外 ー社（社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(注) 詳細は、添付資料の3ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	28年3月期3Q	97,823,748株	27年3月期	97,823,748株
② 期末自己株式数	28年3月期3Q	67,558株	27年3月期	66,950株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	28年3月期3Q	97,756,609株	27年3月期3Q	97,757,788株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しておりません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8
4. 補足情報 .....	10
(1) 受注及び販売の状況 .....	10
(2) 地域に関する情報 .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、景気は底堅く推移したものの、外需環境の不透明感から設備投資は伸び悩みました。世界経済は、欧州では緩やかな景気回復が持続しましたが、北米では個人消費は堅調に推移したものの製造業の設備投資は低迷し、中国においても景気の減速基調が続きました。

このような環境のなかで、当グループは、『お客様に感動を!』のコーポレートスローガンのもと、変革にチャレンジし、世界有数のロボットメーカーとして独創性の高い製品開発に取り組むとともに、スピード経営を推進し、価格競争力の高い製品のタイムリーな市場投入に努めてまいりました。また、グループ会社間の連携及び代理店網の拡充による国内外の販売・サービス体制の強化やソリューション営業の推進により顧客満足度の向上に努めるとともに、サプライチェーンの強化や生産改革による徹底したQCD(品質・コスト・納期)の追求に取り組み、収益性の向上を目指してまいりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は65,324百万円となり、前第3四半期連結累計期間と比べて621百万円(1.0%)増加いたしました。また、営業利益は9,526百万円(前年同四半期比7.9%増)、経常利益は10,006百万円(前年同四半期比2.7%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は6,949百万円(前年同四半期比1.1%増)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

## 1) 電子部品組立機

スマートフォン等の成長鈍化や中国経済の減速による先行き不透明感から設備投資に対する慎重な姿勢が見られました。この結果、売上高は54,661百万円となり、前第3四半期連結累計期間と比べて1,758百万円(3.1%)減少いたしました。また、営業利益は11,658百万円(前年同四半期比3.0%増)となりました。

## 2) 工作機械

工作機械の設備投資需要は自動車業界を中心に堅調に推移しました。この結果、売上高は9,885百万円となり、前第3四半期連結累計期間と比べて2,228百万円(29.1%)増加し、営業利益は216百万円(前年同四半期:営業損失314百万円)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

財政状態につきましては、連結総資産合計は現金及び預金の減少等により前連結会計年度末と比べて2,305百万円減少し151,585百万円となりました。また、連結負債合計は未払法人税等の減少等により前連結会計年度末と比べて4,928百万円減少し13,917百万円となりました。

キャッシュ・フローにつきましては、当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末と比べて6,076百万円減少し48,130百万円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは5,081百万円の収入(前年同四半期:7,786百万円の収入)となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益等のプラス要因が法人税等の支払額等のマイナス要因を上回ったことによるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フローは7,519百万円の支出(前年同四半期:6,631百万円の支出)となりました。これは主に有形及び無形固定資産の取得による支出等によるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フローは3,577百万円の支出(前年同四半期:1,643百万円の支出)となりました。これは主に配当金の支払額によるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年11月5日に公表いたしました連結業績予想から修正は行っておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計方針の変更

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、  
「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)  
及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

これによる損益に与える影響はありません。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	50,228	46,310
受取手形及び売掛金	17,450	19,824
有価証券	4,185	6,187
商品及び製品	6,561	6,089
仕掛品	14,570	15,883
原材料及び貯蔵品	6,766	5,969
その他のたな卸資産	12	—
その他	7,068	5,564
貸倒引当金	△65	△58
流動資産合計	106,779	105,772
固定資産		
有形固定資産	19,441	18,362
無形固定資産	5,331	5,773
投資その他の資産		
投資有価証券	21,672	21,016
その他	665	660
投資その他の資産合計	22,337	21,676
固定資産合計	47,111	45,812
資産合計	153,890	151,585
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,676	3,427
1年内償還予定の社債	600	300
未払法人税等	3,544	313
製品保証引当金	894	931
その他	5,746	5,800
流動負債合計	15,461	10,773
固定負債		
退職給付に係る負債	299	186
その他	3,084	2,956
固定負債合計	3,384	3,143
負債合計	18,845	13,917
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	5,878	5,878
資本剰余金	5,413	5,413
利益剰余金	111,562	115,187
自己株式	△51	△52
株主資本合計	122,802	126,427
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	8,105	7,551
為替換算調整勘定	3,552	3,415
退職給付に係る調整累計額	364	91
その他の包括利益累計額合計	12,022	11,058
非支配株主持分	219	181
純資産合計	135,044	137,667
負債純資産合計	153,890	151,585

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
売上高	64,702	65,324
売上原価	38,591	38,805
売上総利益	26,110	26,518
販売費及び一般管理費	17,281	16,991
営業利益	8,828	9,526
営業外収益		
受取利息	94	108
受取配当金	214	279
為替差益	608	—
補助金収入	7	102
雑収入	69	189
営業外収益合計	995	680
営業外費用		
支払利息	11	5
支払手数料	68	10
為替差損	—	163
雑支出	3	20
営業外費用合計	82	200
経常利益	9,741	10,006
特別利益		
固定資産処分益	60	112
助成金収入	—	192
段階取得に係る差益	77	—
特別利益合計	138	304
特別損失		
固定資産処分損	220	225
その他	5	—
特別損失合計	225	225
税金等調整前四半期純利益	9,653	10,086
法人税、住民税及び事業税	2,828	2,196
法人税等調整額	△59	896
法人税等合計	2,769	3,092
四半期純利益	6,883	6,993
非支配株主に帰属する四半期純利益	8	44
親会社株主に帰属する四半期純利益	6,875	6,949

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
四半期純利益	6,883	6,993
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,448	△554
為替換算調整勘定	2,850	△218
退職給付に係る調整額	△139	△273
その他の包括利益合計	4,159	△1,046
四半期包括利益	11,043	5,947
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	11,040	5,985
非支配株主に係る四半期包括利益	2	△37



## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	9,653	10,086
減価償却費	3,978	3,621
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△300	△515
受取利息及び受取配当金	△309	△388
支払利息	11	5
固定資産処分損益(△は益)	159	112
売上債権の増減額(△は増加)	△4,394	△2,243
たな卸資産の増減額(△は増加)	△158	△57
仕入債務の増減額(△は減少)	△349	△1,298
未収消費税等の増減額(△は増加)	△727	877
その他	1,738	102
小計	9,302	10,303
利息及び配当金の受取額	309	389
利息の支払額	△9	△4
法人税等の支払額	△1,816	△5,606
営業活動によるキャッシュ・フロー	7,786	5,081
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有価証券の取得による支出	△3,000	△3,000
有形及び無形固定資産の取得による支出	△3,435	△3,625
有形及び無形固定資産の売却による収入	197	385
投資有価証券の取得による支出	△612	△106
定期預金の預入による支出	△63	△1,279
定期預金の払戻による収入	113	107
連結の範囲の変更を伴う子会社出資金の取得による収入	169	—
その他	△2	△1
投資活動によるキャッシュ・フロー	△6,631	△7,519
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
社債の償還による支出	△300	△300
配当金の支払額	△1,342	△3,276
その他	△0	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,643	△3,577
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,816	△60
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,328	△6,076
現金及び現金同等物の期首残高	50,658	54,207
現金及び現金同等物の四半期末残高	51,987	48,130

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	電子部品組立機	工作機械	計		
売上高					
外部顧客への売上高	56,420	7,656	64,076	625	64,702
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	2	2
計	56,420	7,656	64,076	628	64,704
セグメント利益又は損失(△)	11,313	△314	10,999	△55	10,943

(注) その他の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、制御機器製造、電子基板設計製造及びソフトウェア開発等を含んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	10,999
その他の区分の損失(△)	△55
セグメント間取引消去	0
全社費用(注)	△2,115
四半期連結損益計算書の営業利益	8,828

(注) 全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び技術研究費であります。

## Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年12月31日)

## 1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	電子部品組立機	工作機械	計		
売上高					
外部顧客への売上高	54,661	9,885	64,546	777	65,324
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	2	2
計	54,661	9,885	64,546	779	65,326
セグメント利益又は損失(△)	11,658	216	11,874	△189	11,684

(注) その他の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、制御機器製造、電子基板設計製造及びソフトウェア開発等を含んでおります。

## 2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	11,874
その他の区分の損失(△)	△189
セグメント間取引消去	1
全社費用(注)	△2,159
四半期連結損益計算書の営業利益	9,526

(注) 全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び技術研究費であります。

## 4. 補足情報

## (1) 受注及び販売の状況

前第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年12月31日)

セグメントの名称	受注高 (百万円)	構成比 (%)	売上高 (百万円)	構成比 (%)	受注残高 (百万円)	構成比 (%)
電子部品組立機	55,522	81.0	56,420	87.2	8,748	50.2
工作機械	12,313	18.0	7,656	11.8	8,470	48.6
その他	706	1.0	625	1.0	209	1.2
合計	68,542	100.0	64,702	100.0	17,428	100.0

当第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年12月31日)

セグメントの名称	受注高 (百万円)	構成比 (%)	売上高 (百万円)	構成比 (%)	受注残高 (百万円)	構成比 (%)
電子部品組立機	52,153	81.9	54,661	83.7	9,180	49.1
工作機械	10,563	16.6	9,885	15.1	9,095	48.6
その他	980	1.5	777	1.2	438	2.3
合計	63,697	100.0	65,324	100.0	18,714	100.0

前連結会計年度(自平成26年4月1日至平成27年3月31日)

セグメントの名称	受注高 (百万円)	構成比 (%)	売上高 (百万円)	構成比 (%)	受注残高 (百万円)	構成比 (%)
電子部品組立機	75,627	82.2	73,584	86.3	11,688	57.5
工作機械	15,361	16.7	10,756	12.6	8,417	41.4
その他	1,030	1.1	924	1.1	235	1.1
合計	92,019	100.0	85,265	100.0	20,341	100.0

## (2) 地域に関する情報

前第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年12月31日)

	日本	中国	他アジア	米国	他北米	ヨーロッパ	その他	合計
売上高(百万円)	6,676	30,847	8,930	8,186	1,833	6,906	1,321	64,702
構成比(%)	10.3	47.7	13.8	12.7	2.8	10.7	2.0	100.0

当第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年12月31日)

	日本	中国	他アジア	米国	他北米	ヨーロッパ	その他	合計
売上高(百万円)	10,991	24,708	8,258	9,318	2,764	7,857	1,425	65,324
構成比(%)	16.8	37.8	12.7	14.3	4.2	12.0	2.2	100.0

前連結会計年度(自平成26年4月1日至平成27年3月31日)

	日本	中国	他アジア	米国	他北米	ヨーロッパ	その他	合計
売上高(百万円)	9,903	37,856	12,082	11,100	2,694	9,953	1,674	85,265
構成比(%)	11.6	44.4	14.2	13.0	3.1	11.7	2.0	100.0

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

参考資料

平成28年3月期 第3四半期決算発表

平成28年2月10日  
 富士機械製造株式会社  
 (コード番号 6134 東証・名証第一部)

1. 当期の連結売上高・収益の通期予想 (平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
通期予想	82,000	△3.8	10,200	△15.5	10,800	△17.1	7,200	△16.6

(注) 平成27年11月5日に公表いたしました予想から修正は行っておりません。

2. 当期の個別売上高・収益の通期予想 (平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
通期予想	74,000	△6.2	8,600	△24.1	9,200	△25.2	6,400	△21.4

(注) 平成27年11月5日に公表いたしました予想から修正は行っておりません。

3. 当期の連結受注高・売上高の通期予想 (平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(単位：百万円未満切捨)

セグメントの名称	受注高	売上高
	通期予想	通期予想
電子部品組立機	68,000	67,000
工作機械	13,500	13,500
その他	1,500	1,500
合計	83,000	82,000

(注) 平成27年11月5日に公表いたしました予想から受注高のみ修正しております。

4. 当期の主な科目の通期予想 (平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(単位：百万円未満切捨)

科目	通期予想
設備投資額	5,900
減価償却実施額	4,800
研究開発費	6,700

(注) 平成27年11月5日に公表いたしました予想から修正は行っておりません。